

Information 【増刊号とは】

OralStudioは、日本最大規模の歯科専門家向けポータルサイトで学術、製品、臨床動画、各種セミナー等の情報をWeb上で提供中。同時に、全国の先生方とネットワークを構築し様々な臨床評価を行っています。増刊号ではその一端をご報告します。

■ ビューティフィル E ポステリア 臨床評価実施



2013年より発売が開始された松風社のビューティフィル E ポステリアは、保険適用外の臼歯部充填修復用コンポジットレジンです。特徴は、優れた付形性と形態維持性があり、臼歯部咬合面へのCR修復を行いやすい性質とのこと。また当製品は、松風独自技術のS-PRGフィラーを配合したGiomer製品

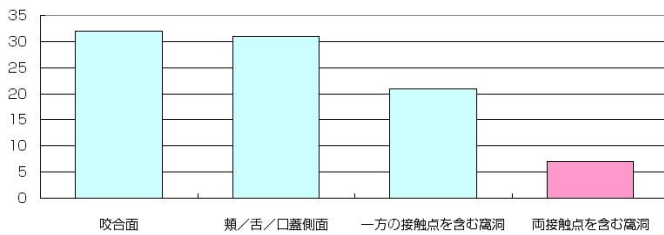
です。このため当製品は「抗ブランク付着性」という興味深いGiomerの特徴を持っています。

OralStudioでは、35名の臨床評価Dr.の協力を得て当製品の短期臨床評価を行いました（シリンジタイプの2種類のシェードに対して）。長期のin vivoデータがないためあくまで製品の使用感にとどまりますが、皆様の臨床の参考になれば幸いです。

臨床評価Dr.の「CR修復治療の実際」について

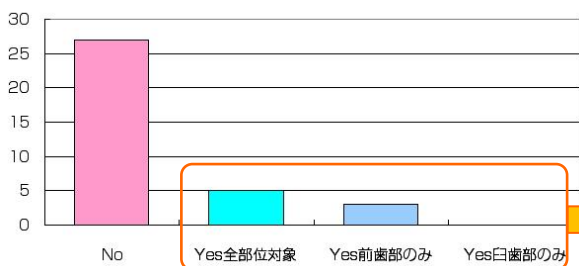
CR修復でどこまで対応されていますか？

【複数回答】



評価結果を左に示します。MOD窩洞までCR充填で対応すると回答したDr.は35名中7名（20%）でした。**多くのDr.は、技術的な問題というより直接法の限界、リスク回避という観点からMOD窩洞充填は避けておられると推察されます。**

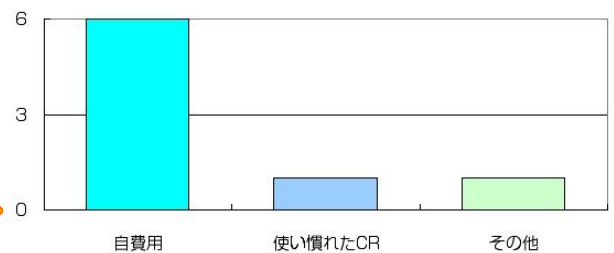
自費のCR修復を提供されていますか？



自費CR提供中の8名に聞きました

自費CRを提供しているDr.は23%。他の項目に対するコメントから推察するに、保険CRでもこれだけ審美性が高くなった今、患者さんに対して自費CRに関するメリットの説明が難しい状況が明らかとなりました。

その場合、どのようなCRを使用されますか？



「その他」と回答されたDr.が1名おられました。コメントに具体的な製品名（保険適用外のCR）を記載されておられたため、実際は**自費CRを提供されている8名中7名のDr.が自費用CRを使用されている結果**となりました。

自由診療でCR充填が行われているDr.より頂いたコメント

CRは保険メインだが、現在充填されているCRの変色が気になる方に対しては自費で行なうことがある。私自身は、前歯部を除き、重合収縮と臼歯隣接面の技術的な難しさを考えると無理して時間をかけて臼歯部にCRを行なうより、形成印象して、ラボサイドでグラディアインレーを作製してセットした方がより精度が高いと感じる。一般的な保険主体の開業医であれば、見えにくく、適合状態の確認が難しい臼歯部は、CR直接法より、間接法の方が確実であると考え。また、当医院ではセレックを導入していることもあり、収縮を避けられないCRよりは、セレックの方が圧倒的に優れていると感じているため、臼歯部では自費CRは行っていない。前歯部の隣接面に局限しているカリエスに対して自費CRを限定している。

咬合面、隣接面を含む場合は基本的にはセラミックを使いたいので、それ以外の場合でコンポジットを使うことは多くない。直接法の限界を感じていることなどであまり勧めることはしない。

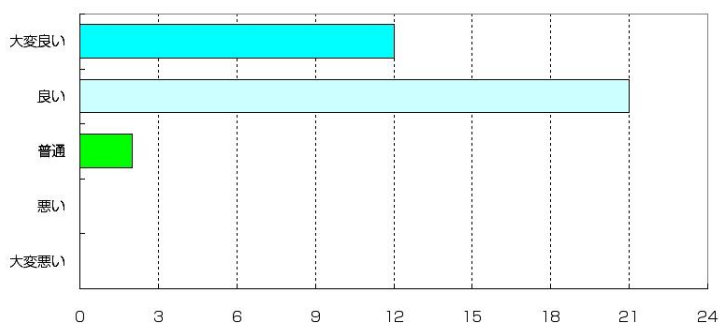
今後MIの!観点から増加していきだろう。

歯科界でのCR修復技術レベルが格段に向上しているのを実感。

難易度とチャージを患者さんに納得してもらっているか気になる。簡単に上手く行っただけこれだけ貰って良いのかな？とか難しかったのにこれだけしかいただけないのかな？など…難しい。

ビューティフィル E ポステリア に対する臨床評価

形態付与性はいかがでしたか？



「大変に良い」12名 (34%) 「良い」21名 (60%)、「普通」2名 (6%)。形態付与性について90%以上のDr.から高い評価を頂きました。**Dr.の好みや手技に関わらず、当CRの形態付与性の高さが窺われます。**

■ 「大変良い」と回答したDr.のコメント

形態付与後の維持、インスツルメントからの離れの良さなど、操作性は大変良かった。

付形性が大変良い。

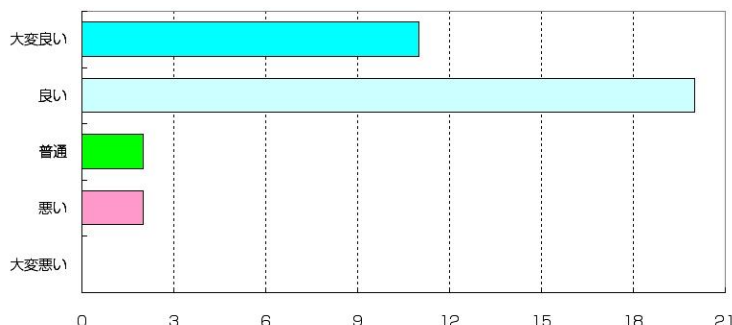
■ 「良い」と回答したDr.のコメント

狙った形態の付与性、及びその維持感、操作器具へのべたつきも少なく抜群であった。しかしあえて言うと辺縁部へ伸ばすような圧接をする際、しづらく感じた。

■ 「普通」と回答したDr.のコメント

外面の付与性がある反面、やや固すぎて窩洞への壁着（密着）には不安を感じる。

ペーストの硬さはいかがでしたか？



「大変に良い」11名 (31%) 「良い」20名 (57%)、「普通」2名 (6%)、「悪い」2名 (6%)。咬合面1級窩洞に対しては適切な硬さであるものの、**近遠心が絡むと当CRだけでは不安**であるとの意見も示されました。

■ 「大変良い」と回答したDr.のコメント

良く研究された実用的な「硬さ」であり、咬合させても対合に付くこともなく操作しやすかった。

■ 「良い」と回答したDr.のコメント

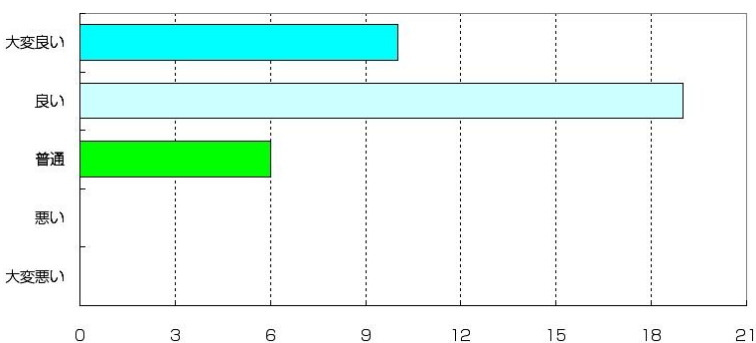
ペーストの硬度が高く、咬合面は安心して使えるが、隣接面充填の際に窩洞にフィットしているかが不安。

■ 「普通」と回答したDr.のコメント

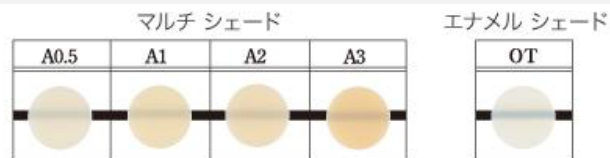
硬いため付与性は良いが、窩壁への馴染みという点では今ひとつであると思う。実際には、フローのセメントと併用して使用。ただし、臼歯部の咬合面形態を付与するということを中心に考えるとかなり使用しやすい。好みもあるが、ビューティフィル E ポステリアのみで行なおうと思うと少し硬いかなと思う。

フロアブルレジン等で窩洞の単純化を行った上で、ビューティフィル E ポステリアを使用すると、当製品の性能を十分に発揮できると考えられる

色調はいかがでしたか？



約80%以上のDr.が高評価。「大変に良い」10名 (29%) 「良い」19名 (54%)、「普通」6名 (17%)。今回の評価は、エナメルシェード (OT) とマルチシェード (A2) を使用しましたが、以下にラインナップを示します。



※OT=オクレーザルトランス

■ 「大変良い」と回答したDr.のコメント

今回評価したCRは臼歯部用だが、マルチシェードとエナメルシェードを組み合わせると前歯部充填に使用しても十分に下地の色を隠して自然感を出せた。使いやすいCRだ。

OTとA2しか試していないが、A2は大変良かった。A3や他色も試してみたい。CRの自費も考えようかと思った。

デンチン色とエナメル色の併用で天然歯に近い色調が再現できた。

馴染みやすい色調なので、色を合わせやすい。

■ 「良い」と回答したDr.のコメント

OTは非常に良い。

色には若干好みがあると思うが、他社製品に比べて硬化前後の色調変化は少なく感じられ色合わせはしやすいと感じた。

他社のレジンと積層し、表面に使用したが、色調の違う歯に対しても大した違和感もなく仕上がった。

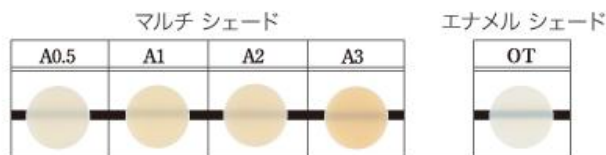
■ 「普通」と回答したDr.のコメント

今回提供されたシェード数が少なく、何ともコメントできない。

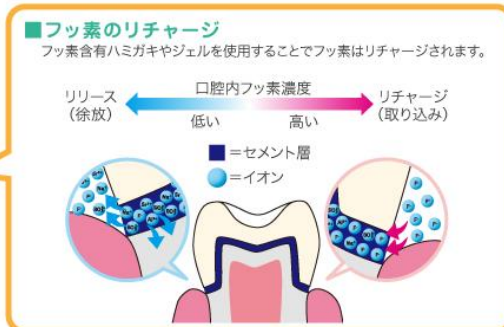
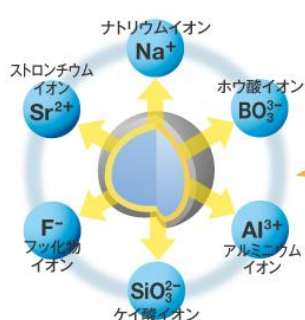
■ビューティフィル E ポステリアとは どんなCR?

① 保険適用外の臼歯部充填修復用コンポジットレジン

シリンジタイプとチップタイプの2種類のラインナップで提供されるコンポジットレジン。シェードは以下の通り4種類のマルチシェードと1種類のエナメルシェードより構成されており、**色調は高く評価**されています。



② 口腔内環境 健全化に寄与する **Giomer製品** (S-PRG filler inside)



ビューティフィル E ポステリアは、松風独自技術である S-PRG 配合の Giomer 製品。Giomer 製品からは **6種類のイオンが徐放** (上左図) され、様々な興味深い作用を引き起こします。

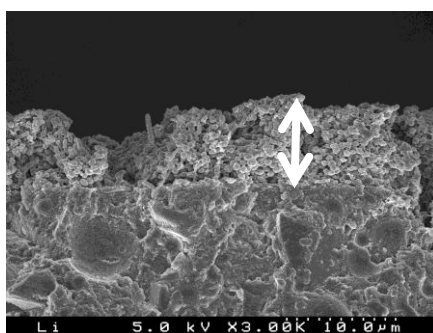
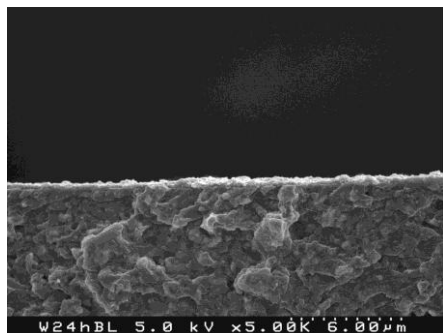
フッ素徐放・リチャージによる歯質強化作用

周囲環境の酸中和作用

プラーク付着抑制作用

ご参考：Giomerの抗プラーク付着性に関する学会報告

S-PRG フィラー配合コンポジットレジンの表面は唾液と接触することにより、マテリアルフィルム層ができ、これがコンポジットレジン表面への細菌付着および増殖を抑制し、**成熟したプラークを形成しにくくする**と報告されています。また、この層はブラッシング等により脱離するものの、再度唾液との接触によって再形成され、持続的にプラーク形成を抑制するといわれています。以下の写真に、**口腔内におけるプラーク形成状況の観察 (24時間ブラッシングなし)** を示します。



左電子顕微鏡写真：ビューティフィル II (S-PRG フィラー配合コンポジットレジン)

右電子顕微鏡写真：S-PRG フィラー未配合コンポジットレジン

白矢印：形成されたプラーク

参考：朝日大学 歯学部歯科保存学分野 / 第117～123回日本歯科保存学会報告



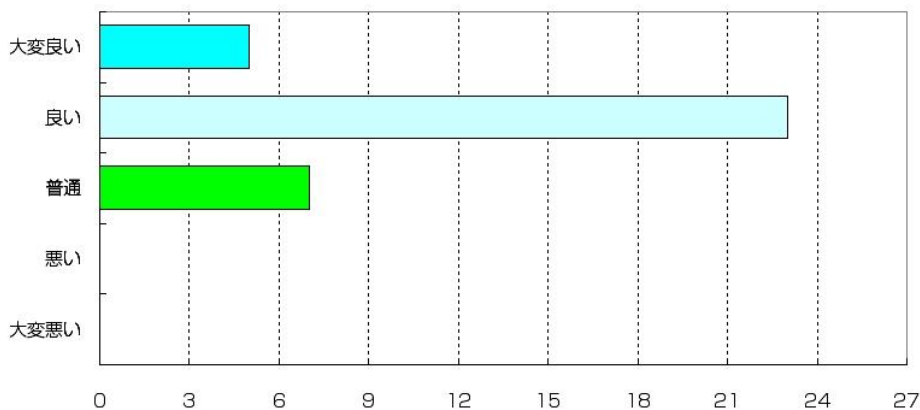
OralStudioでは オリジナルの 歯科器材 説明 動画を配信中!

ビューティ
フィル E
ポステリア
製品情報
Check!



スマホでアクセス

ビューティフィル E ポステリアの総合評価をお教えてください



総合評価は 約90%のDr.が高評価。

当CRの「硬さ」が、ご自身の臨床にマッチしていると感じられた先生方は高い評価をつけられました。この点については、**実際に臨床使用しない限り評価できないため、当CRにご興味がある場合は、一度ご使用になれることお勧めします。**

今回の臨床評価が、自費のCR充填にトライしてみるキッカケになった方も多いようです。

■ 「非常に良い」と回答したDr.のコメント

自費専門であるから、という割り切った選択肢もわかるが、国民皆保険で充填が認められている社会情勢にどのようにして対応していくかが、このような材料の本当の大きな問題なのかもしれない。

■ 「良い」と回答したDr.のコメント

操作性がとてもよく使いやすかった。自費での設定はないので今後検討してみようと思う。

経年変化を見てもないと評価は難しいが、しっかりした感触が感じられた。当院では自費のCR充填は行っていないが、いずれそういう時代がくるのかと身構えている。保険適用の材料もかなりよくなっているの、どこがどう違うのか、患者さんへのインフォームド・コンセントの方法なども情報提供していただければありがたい。

窩洞と歯質の移行部の仕上がりもきれいに出来るし、操作性もべたつかず好きな感じ。辺縁の経年的な変化がどうなるか知りたいところ。対合歯と咬合させても接触点の仕上がりにも満足出来る硬さ。研磨も容易で使いやすい。

良くも悪くも硬さがポイント。形態付与性は非常に良い。また、ベタつかない点は最高だと感じた。臼歯部専用のCRと、このことを考えると非常に使いやすい製品だが、ビューティフィル E ポステリアのみで全ての臼歯部に対応しようと思うと隣接面の狭い部分には、対応が難しいと思う。

ペーストの充填器離れがよく、使い勝手が良いレジン。付形性も良好。シリンジのキャップが、壊れやすそうな気がするが、キャップがなくなる利点がありそうだ。シリンジの柄の色が白で高級感ある自費用レジンになっているのが◎。

操作感でいうと非常に気に入っている。経時的な摩耗などが満足いくレベルであればメインコースにしたい。

バイトフォームブルテクニックが可能な操作性は優れている。臼歯部のバイト調整の時間がほとんどかからず、本当に便利。

咬合させて形態を付与する方法はフィルムを介して従来から自己流で行っていたが「ビューティフィル E ポステリア」では推奨テクニックになったというのがちょっと驚きであった。このようなテクニックや高額なハンズオンコースで伝授される方法等がもう少しオープンになり、歯科医師全員が綺麗で確実なCR充填を行えるようになることが大切。こういう流れが、歯科医師に対する患者や国民からの評価を高めることにつながると思う。歯間部の「目地を埋める」ような充填を目にする度、痛切に思う。

製品が乱立する中で、ジアイオマーコンセプト (Giomer) の元での製品にはこれからも期待している。

■ 「普通」と回答したDr.のコメント

レジン充填の自費導入はしていないが、当製品を使ってみて、考えさせられた。

ビューティフィル E ポステリア 臨床評価のまとめ

- ✓ 「形態付与性」「色調」は全体的に高評価だが、「ペースト硬さ」は評価が二分。築盛の容易さを高く評価される一方で、窩壁との馴染みに関する不安、硬すぎて使えないなどの指摘があった。
- ✓ CR修復は、保険材料でも十分審美性を満足させることができるため、自費のメリットをどのように訴えていくかが難しいところ。
- ✓ 昨今の審美修復は、直接法テクニック合戦の様相を呈しており、治療という観点からも疑問がある。基本に立ち返り、間接法の方がメリットがあるケースに対しては、そちらを選択すべきである。
- ✓ 複数のDr.が、当CRの試用をきっかけに自費CR導入を考えるようになったことは興味深い。

os_contact@oralstudio.net

OralStudioは
長期的な医学的妥当性を
考慮した歯科治療を
応援します。

OralStudio Monthly Report

発行：株式会社デンタルアロー

札幌市東区北21条東20丁目2-21
TEL：011-788-2822 FAX：011-787-0034